

ナブテスコ株式会社 2023年12月期第2四半期 決算説明会資料

2023年8月8日

代表取締役社長兼CEO

木村 和正

1. 2023年12月期 上期実績

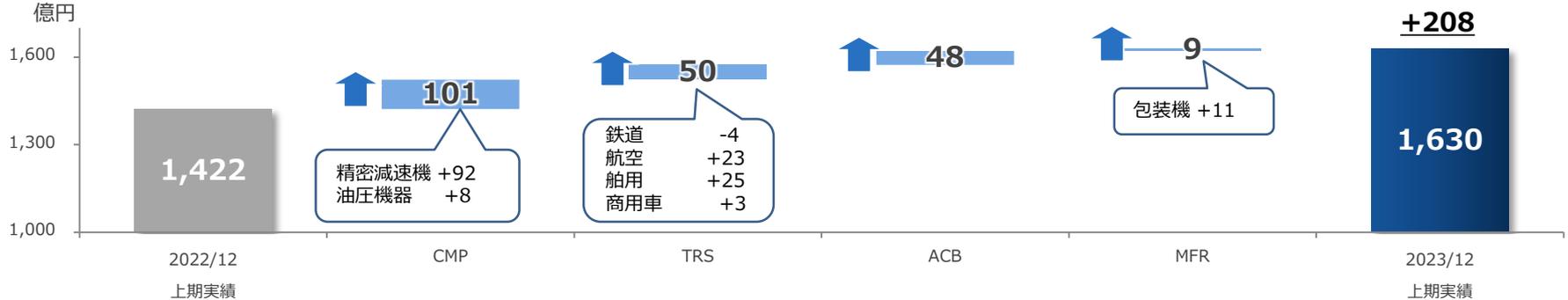
2. 2023年12月期 通期見通し

3. トピックス

1. 2023年12月期 上期実績

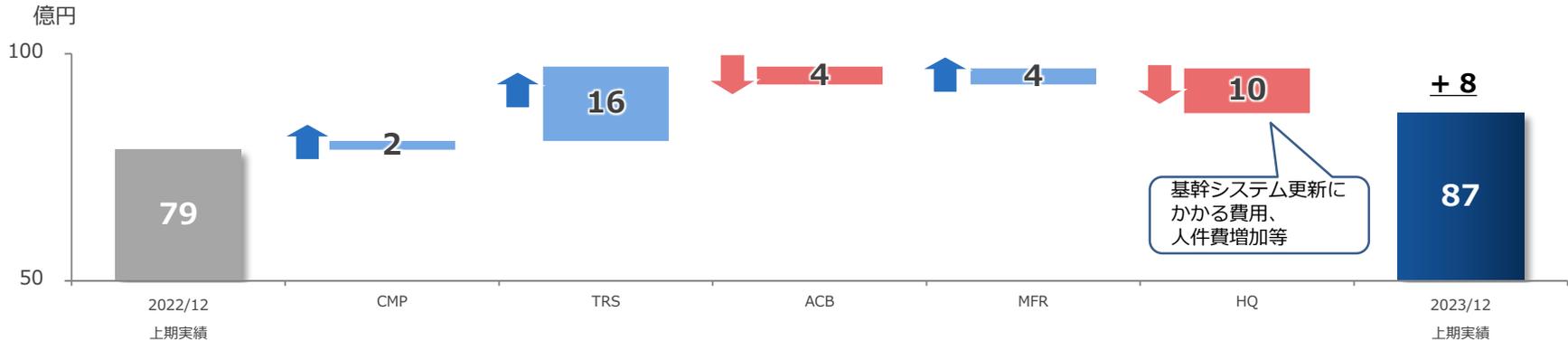
売上高

■精密減速機でEV関連投資に伴う産業用ロボットの需要が好調、またTRSでは需要回復がみられ、ACBも建物用自動ドアが好調であり全セグメントで増収。



営業利益

■増収による増益はあるものの、CMPでは光熱費高騰による調達費の増加に加え、需要増加を見越した生産体制構築のための人件費増加、ACBでの一時的なコスト増加があり増益幅は限定的。



CMP: Component Solution Segment TRS: Transport Solution Segment ACB: Accessibility Solution Segment MFR: Manufacturing Solution Segment

■ HDS*1の売却完了により最終的な評価益確定。計画比減益も配当額は計画通り。

(単位：億円)	2022年12月期	2023年12月期	2023年12月期
	上期実績	上期計画	上期実績
	(A)	(B)	(C)
売上高	1,422	1,610	1,630
営業利益	79	105	87
(営業利益率)	5.5%	6.5%	5.3%
金融損益	-147	9	45
(うちHDS評価損益)	-166	9	35
持分法投資利益	11	13	23
税引前利益	-57	127	155
当期利益*2	-51	74	95
一株当たり当期利益	-42.56	61.67	78.74
中間配当	39	40	40

前年同期比	上期計画比
増減額	増減額
(C-A)	(C-B)
208	20
8	-18
-0.2pt	-1.2pt
192	36
201	26
12	10
212	28
146	21

*1 HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

*2 当期利益:親会社の所有者に帰属する当期利益

■ M&Aや設備投資などの投資により現預金が減少した一方、非流動資産増加。HDS*1の株式売却は第2四半期に完了。

(単位：億円)

	2022/12 期末 2022年12月31日	2023/12 上期末 2023年6月30日	差異
資産	4,593	4,255	-338
(現預金等)	1,244	1,037	-207
(売上債権)	794	734	-60
(棚卸資産)	492	604	112
(売却目的で保有する資産)	340	0	-340
(非流動資産)	1,638	1,801	163
負債	1,961	1,510	-450
(社債及び借入金)	203	227	24
(流動負債のその他金融負債)	473	1	-472
(未払法人所得税等及び長期繰延税金負債)	158	90	-68
資本	2,632	2,744	112
(自己株式)	-46	-45	1
(非支配持分)	145	145	-1
親会社の所有者に帰属する持分	2,487	2,600	113

- ・ Copas買収
- ・ HDS精算
- ・ 配当支払/法人税支払

- ・ HDS売却完了に伴う減少

- ・ 設備投資による資産増加
- ・ Copas買収に伴うのれん等増加

- ・ HDS売却完了に伴う金融負債減少

親会社所有者帰属持分比率：

54.1%

61.1%

*1 HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

2. 2023年12月期 通期見通し

事業		市場環境		市場動向	下期需要見通し
CMP	精密減速機		2Qに入りEV関連の需要減少にともない、中国をはじめ世界の産業用ロボット需要が減少に転じた。産業用ロボット在庫の増加もあり顧客各社は減産の方向。 工作機械受注（6月）参照：工作機械工業会 前年同月比21%減、前月比2%増		
	油圧機器		中国市場は引き続き需要停滞 23年1-6月の中国建機販売（参照：中国建設機械工業会）はYoY-24% 日本や欧米・東南アジア需要は前年並み 日本の23年1~6月建機出荷金額（参照：日本建設機械工業会）（国内+輸出）YoY+33%	 	
TRS	鉄道車両用機器		新車向け投資は抑制傾向継続も、国内のMROは堅調 中国での鉄道投資は停滞傾向		
	航空機器		民間・防衛ともに回復基調		
	商用車用機器		電子部品不足は解消傾向も、その他部品の不足で完成車の製造に遅れが発生		
	船用機器		造船・海運市場は好調維持		
ACB	自動ドア		首都圏での再開発案件、MRO需要好調をうけ受注は増加傾向 バリアフリー法施行をうけPD需要も堅調		
MFR	包装機		国内外で一部設備投資の先送りが見られるものの、自動化・省人化ニーズの高まりをうけ食品産業をはじめ需要は底堅い。		

PD : Platform doors

売上高 下方修正

1

連結売上高：3,300億円（期首計画比▲90億円、前年比+213億円）

【下方修正の要因】

- 6月以降、急速な中国等での大型産業用ロボット需要減退による精密減速機
の需要減少

営業利益 下方修正

2

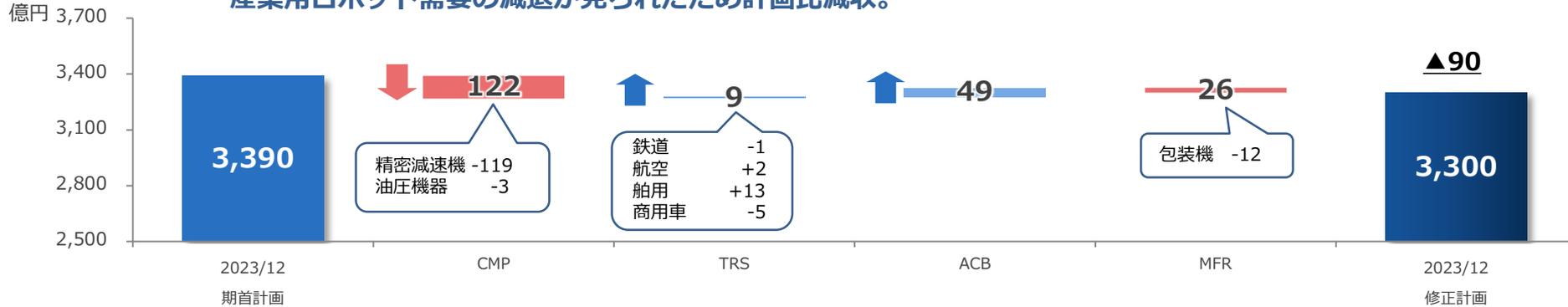
連結営業利益：190億円（期首計画比▲72億円、前年比+9億円）

【下方修正の要因】

- CMPの減収による減益
- 主にCMPで期首想定を上回る調達コスト増加

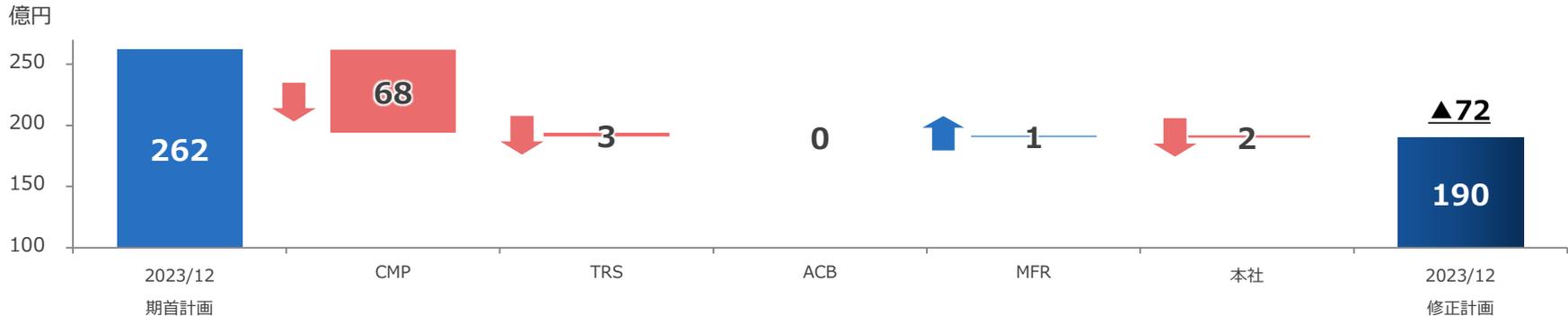
売上高

■ 好調な船用機器とACBにおける買収効果や為替効果による増加要因はあるものの、精密減速機では6月以降に産業用ロボット需要の減退が見られたため計画比減収。



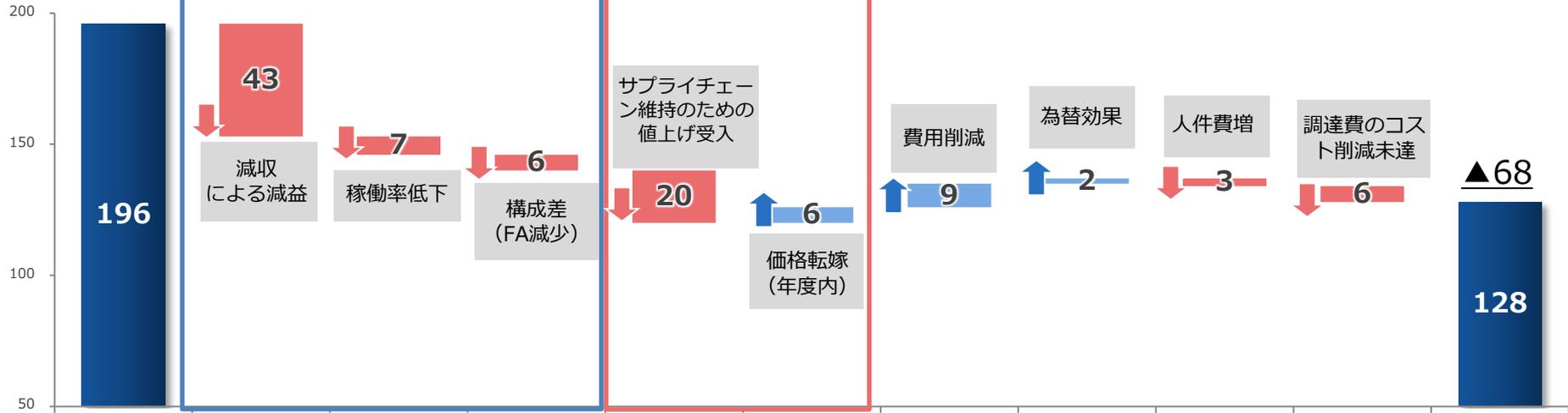
営業利益

■ 減収による減益に加え、主にCMPでFA向けの減少や、想定以上の調達コスト増加により計画比減益。



CMP: Component Solution Segment TRS: Transport Solution Segment ACB: Accessibility Solution Segment MFR: Manufacturing Solution Segment

(億円)



2023/12

2023/12

期首計画

修正計画

影響	23年利益改善策	24年以降の利益改善策
① 需要減少	<ul style="list-style-type: none"> 固定費の削減 浜松工場の稼働時期の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 需要変動に対応した最適な人員配置 自動化率引き上げ FAの拡販（バッテリー、通信、半導体製造装置、物流等）
② 調達費増加	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー価格含む価格転嫁 	<ul style="list-style-type: none"> 23年度の未達分の確実な価格転嫁 Make/Buyの変更（ベアリングの内製化、熱処理等） 新規サプライヤーの採用

■ 売上高は主に精密減速機において中国での産業用ロボット向け需要の減退や産業用ロボットメーカーでの在庫調整等の影響を受けたことで下方修正。営業利益はCMPでの減収による減益や調達コスト増加により下方修正だが、年間配当予定額は据え置き。

(単位：億円)	2022年12月期	2023年12月期	2023年12月期
	実績	期首計画	修正計画
	(A)	(B)	(C)
売上高	3,087	3,390	3,300
営業利益	181	262	190
(営業利益率)	5.9%	7.7%	5.8%
金融損益	-51	9	44
(うちHDS* ¹ 評価損益)	-56	9	35
税引前利益	158	292	270
当期利益* ²	95	195	178
ROIC	4.6%	6.5%	4.7%
一株当たり年間配当金 (予定)	78.00	80.00	80.00
配当性向	98.9%	49.2%	53.9%

前年同期比	期首計画比
増減額	増減額
(C-A)	(C-B)
213	-90
9	-72
-0.1pt	-2.0pt
95	35
91	26
112	-22
83	-17
0.1pt	-1.8pt

*1 HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

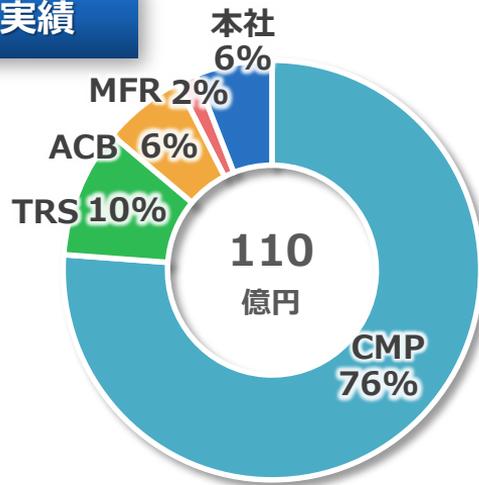
*2 当期利益:親会社の所有者に帰属する当期利益

■ 設備投資は精密減速機の需要減少を受けたことで投資時期を見直し。

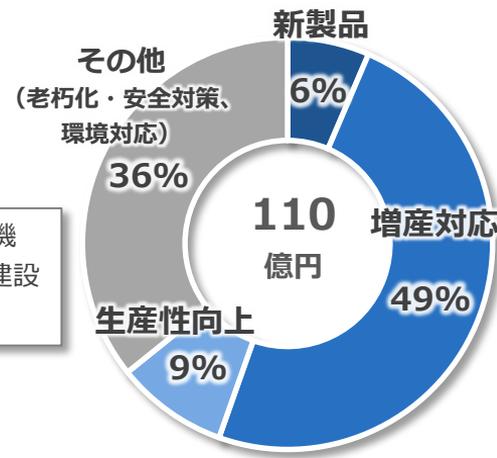
(単位：億円)	2022/12 上期実績 (A)	2023/12 上期実績 (B)	前年同期比 (B-A)
設備投資額	70	110	40
研究開発費	54	54	0
減価償却費	71	74	3

2022/12 通期実績	2023/12 修正計画 (C)	2023/12 期首計画 (D)	2023/12 期首計画比 (C-D)
188	345	394	-49
109	129	139	-10
145	153	158	-5

2023/12 上期実績



- 精密減速機
-浜松工場建設
-設備更新



3. トピックス

中長期での
企業価値向上

ROIC経営

ポートフォリオマネジメント

ROICツリー

① 財務評価

② 事業性評価

【評価方法】

①財務評価：資本効率性（ROIC）＋売上高成長率

「評価対象事業」が資本コストを上回るリターンを創出しているか及び持続的な成長を実現しているか否かを評価する。



②事業性評価：産業魅力度＋自社強度＋ESGリスク/機会

- ・財務評価では拾いきれない事業のポテンシャルや将来性を客観視する。
- ・評価対象事業のESGリスク/機会を評価する。

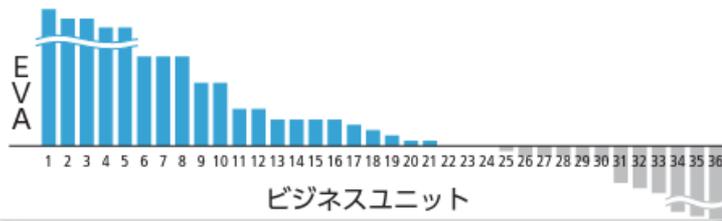
産業魅力度	・市場規模・成長性 ・業界の魅力度
自社強度	・市場シェア、競争優位性 ・模倣困難性 ・ブランド価値、事業間シナジー
ESGの リスク面	・環境（CO ₂ 排出量など）
	・社会（労働問題／労働災害、従業員の離職率、エンゲージメントなど）
ESGの機会面	・ガバナンス（製品不具合発生件数など）
	・事業を通じた社会課題の解決への取組み

「評価対象事業」：現在の当社事業を36に分割したビジネスユニット

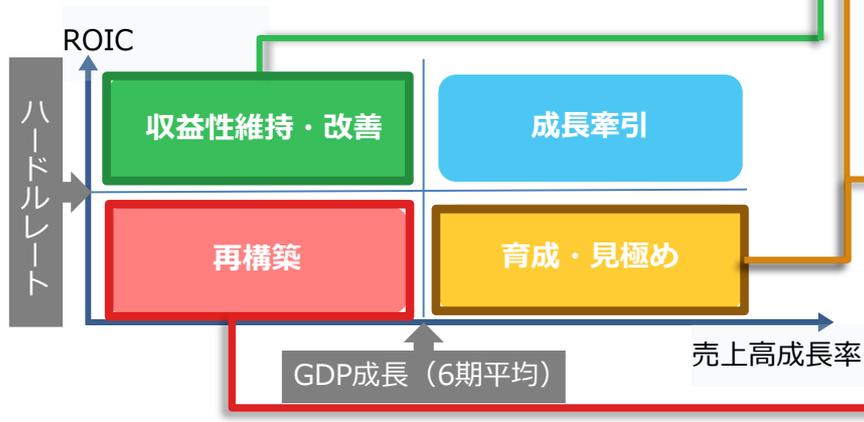
①と②で評価したものを取締役会で審議を行う

ポートフォリオマネジメント分析で現状を見える化

● ビジネスユニット別EVAの分布



各ビジネスユニットをマッピング



アクションの明確化

2023年1月：Copas社買収

欧州自動ドアの販売代理店であるCopas社を買収
収益基盤となるバリューチェーンを整備

2023年7月：Deep Sea technologies社の完全子会社化

Nabtesco 船用エンジン
制御システム

X

Deep Sea AIを活用した
最適な航路・船
速提案

・海運業界におけるDX化と船舶向けソ
リューションサービスの開発と販売
・最適運航制御アルゴリズムを活用し、
船舶の自律運航と省燃費の実現に貢献



・全社でのDX化のエンジンとする

2023年7月：社内アイデア事業化制度

第1期アイデアコンテストで事業化提案確定

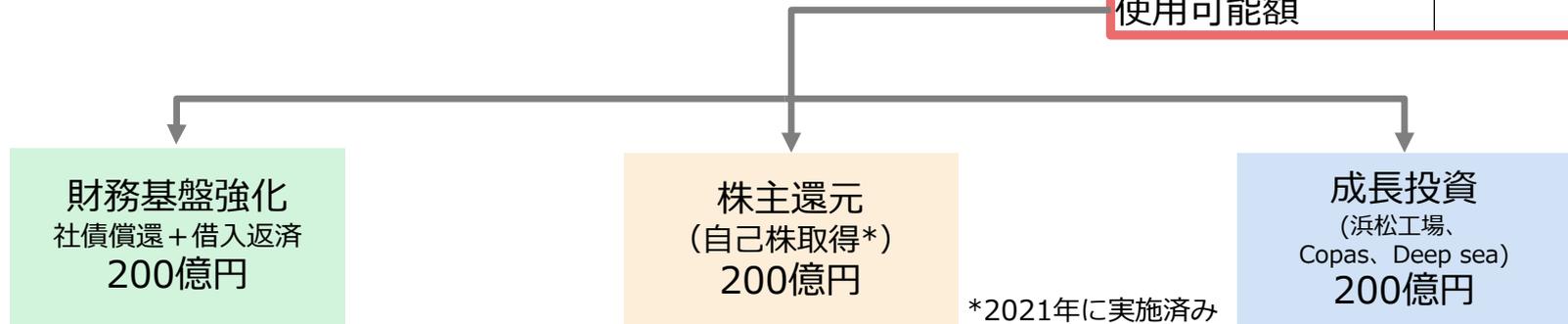
2023年7月：ティーエスプレジジョン(株)を売却

当社グループにはない顧客や営業網を保有する(株)マルカがベスト
オーナーになり得ると判断し、株式を譲渡

Appendix

■ HDS株式売却により得られたキャッシュの総額は608億円(税引後)
財務基盤の強化、株主還元、成長投資に使用

Portion	売却期間	株式数	売却総額 (億円)
第1期売却	2021年2月10日～2022年7月11日	9,160,200株	494
第2期売却パート1	2022年11月16日～2023年2月1日	4,580,100株	179
第2期売却パート2	2022年11月16日～2023年6月23日	4,580,100株	196
小計			869
			税金
			261
			使用可能額
			608



■ 為替レート

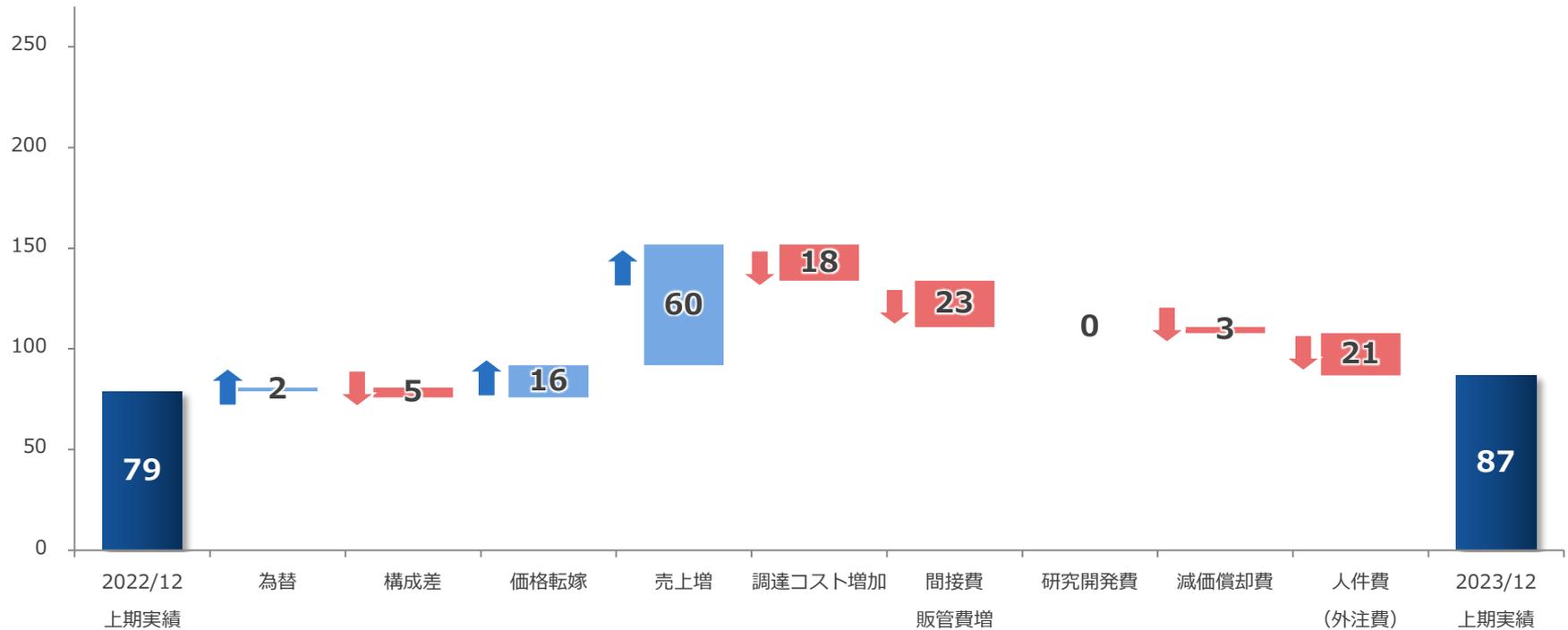
	2022/12 上期実績	2022/12 通期実績	2023/12 上期実績	2023/12 通期期首計画	2023/12 通期修正計画
USD	124.52	131.12	136.54	125.00	125.00
RMB	19.12	19.46	19.54	18.50	18.50
EUR	135.16	136.43	147.93	130.00	140.00
CHF	131.83	136.81	149.75	135.00	145.00

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

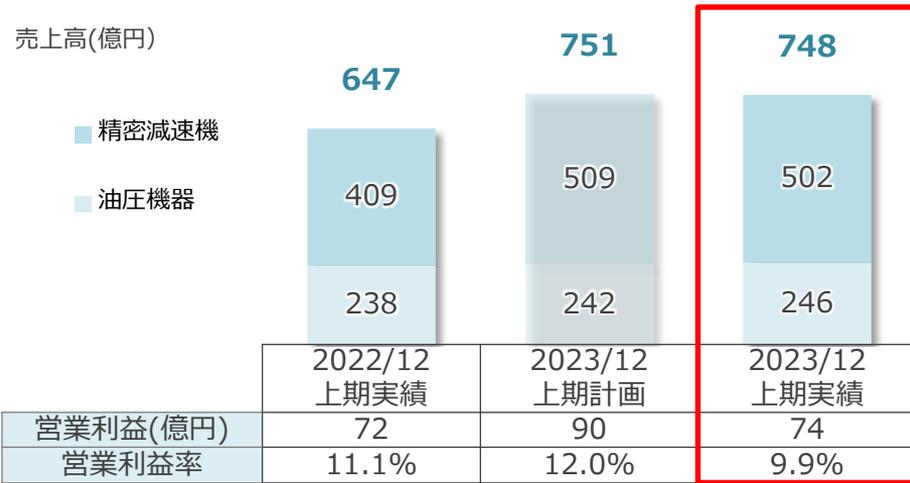
(百万円)	2023/12 上期実績	
	売上	営業利益
USD	67	30
RMB	988	-66
EUR	軽微	軽微
CHF	110	軽微

2023/12 通期修正計画	
売上	営業利益
179	57
1,531	162
82	軽微
246	軽微

2023年12月期 上期実績 詳細



コンポーネントソリューションセグメント (CMP)



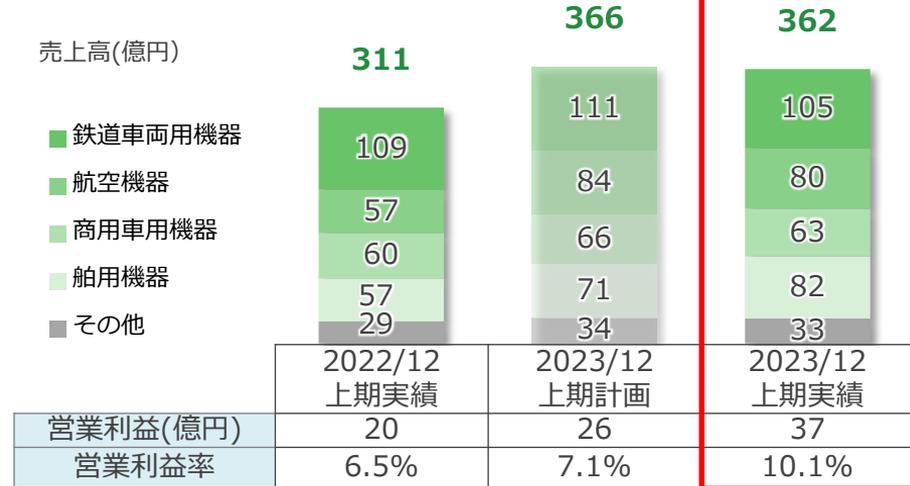
【売上】

- ・精密減速機事業：
堅調なEV関連投資に連動した産業用ロボット需要が好調に推移し前年同期比で増加
- ・油圧機器事業：
中国の需要低迷は継続しているものの、日欧米向けの需要が堅調に推移し前年同期比で増加

【営業利益】

光熱費増加をうけた調達コストや人件費の増加影響をうけ前年同期並み

トランスポートソリューションセグメント (TRS)



【売上】

- ・鉄道車両用機器事業：
国内新車需要が低迷し前年同期比で減少
- ・航空機器事業：
防衛省向け・民間航空機向けともに需要が回復し、前年同期比で増加
- ・商用車用機器事業：
半導体不足の影響が緩和し、前年同期比で増加
- ・船用機器事業：
造船・開運市況が堅調に推移し、前年同期比で増加

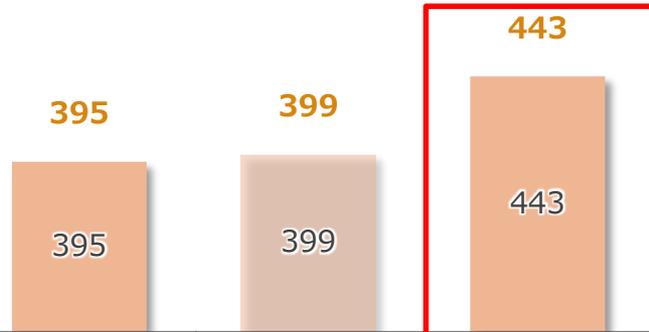
【営業利益】

売上増加による利益増に加えMROも伸長し、前年同期比で増益

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高(億円)

■ 自動ドア



営業利益(億円)	28	30	24
営業利益率	7.2%	7.5%	5.5%

【売上】

・自動ドア事業：

電子部品不足等が解消し国内ドア需要が堅調に推移したことに加え、為替効果もあり前年同期比で増収

【営業利益】

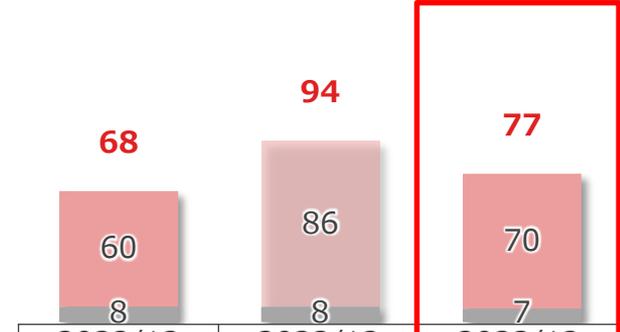
海外のPD案件で一時コストを認識し、前年同期比で減益

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高(億円)

■ 包装機

■ その他



営業利益(億円)	1	9	4
営業利益率	1.0%	9.6%	5.5%

【売上】

・包装機事業：

電子部品不足による生産遅れが緩和し、前年同期比で増加

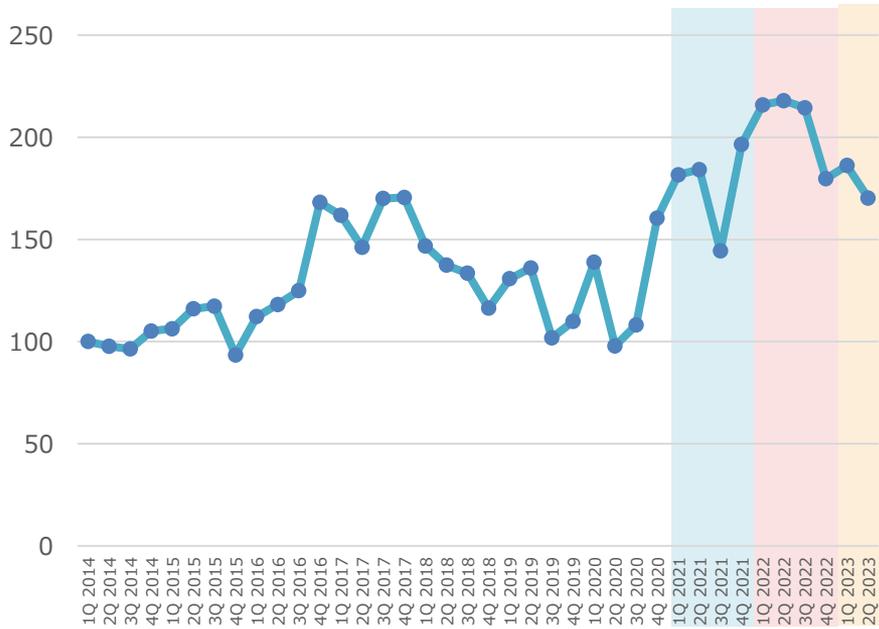
【営業利益】

売上増加に伴う増益

連結受注高

FY2023/2Qの受注高は QoQ-9%, YoY-22%

23年2Q受注高は中国を中心としたEV向け設備投資が一服したことにより減少。



2014年1Q=100とした時の連結受注水準

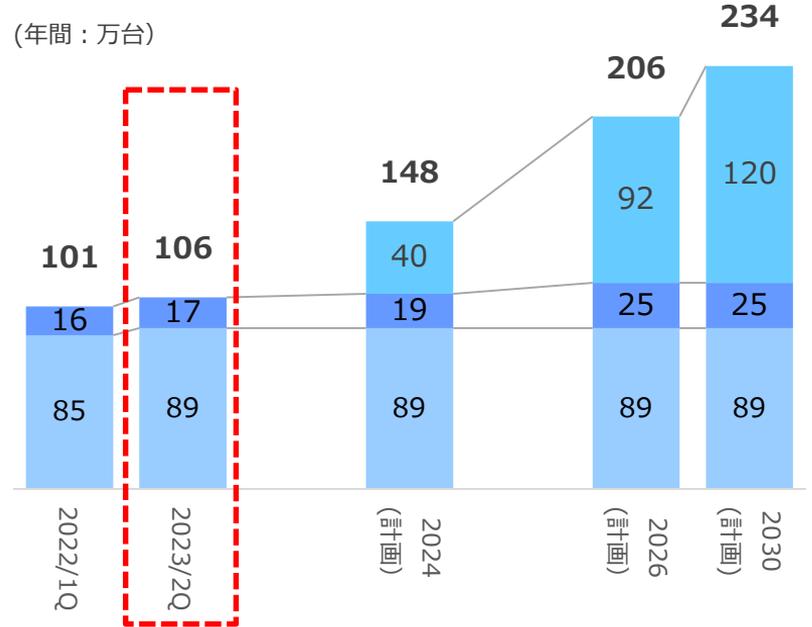
グローバル定時生産能力：106万台/年産（23年2Q時点）

FY2023/2Q 工場稼働率

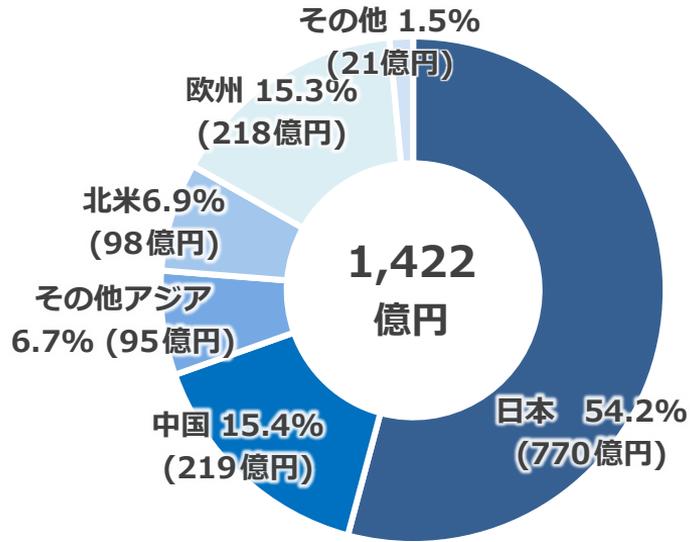
- 日本工場(津) 年産89万台の定時生産能力に対し**110%**稼働
- 中国工場(常州) 年産17万台の定時生産能力に対し**105%**稼働

■ 日本工場(津) ■ 中国工場(常州) ■ 日本工場(浜松)

(年間：万台)

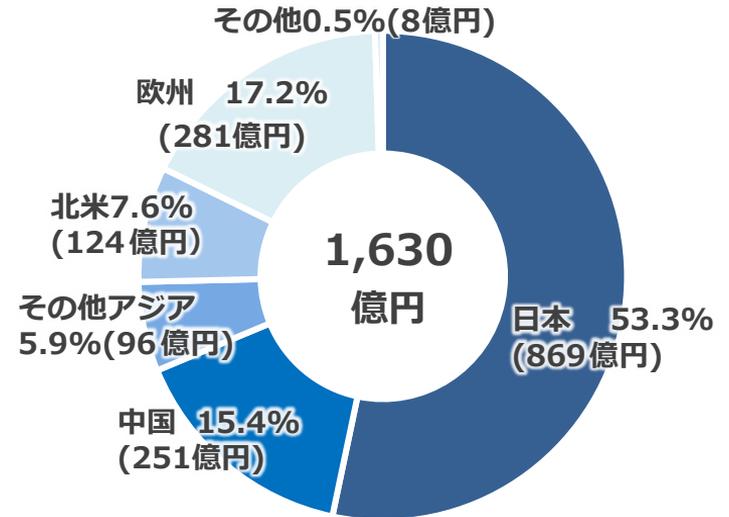


2022/12 上期実績



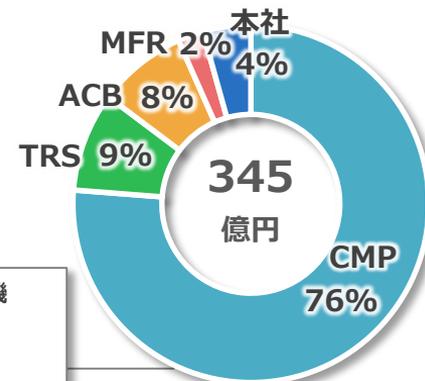
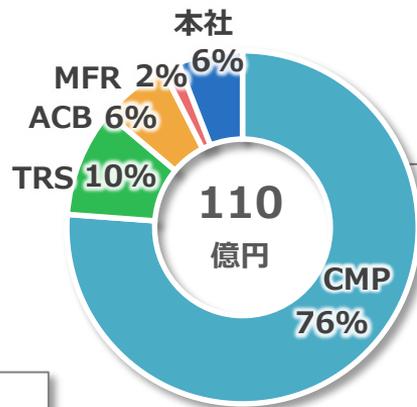
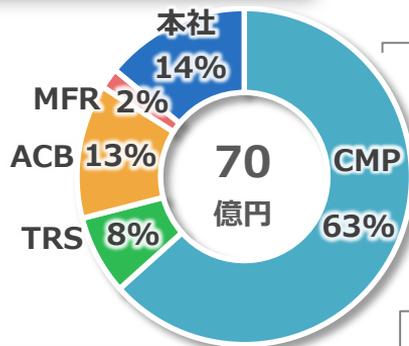
海外売上高	652億円
海外売上高比率	45.9%

2023/12 上期実績



海外売上高	761億円
海外売上高比率	46.7%

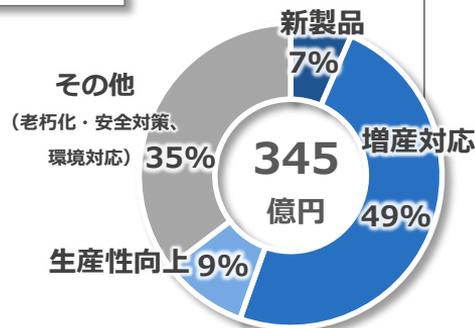
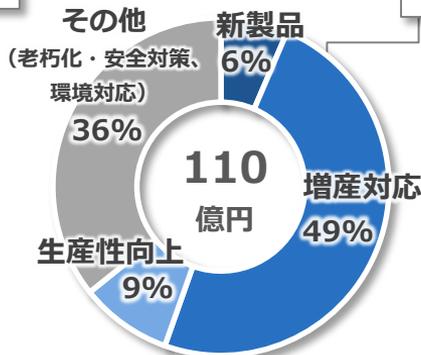
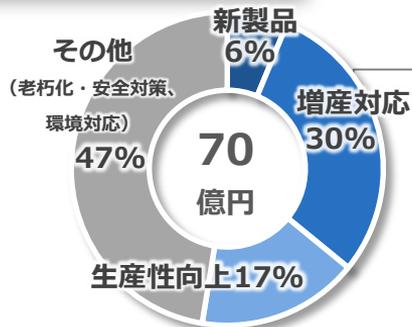
セグメント別



● 精密減速機
-能力増強
(津工場・浜松工場)

● 油圧機器
-設備更新
(垂井工場)

目的別



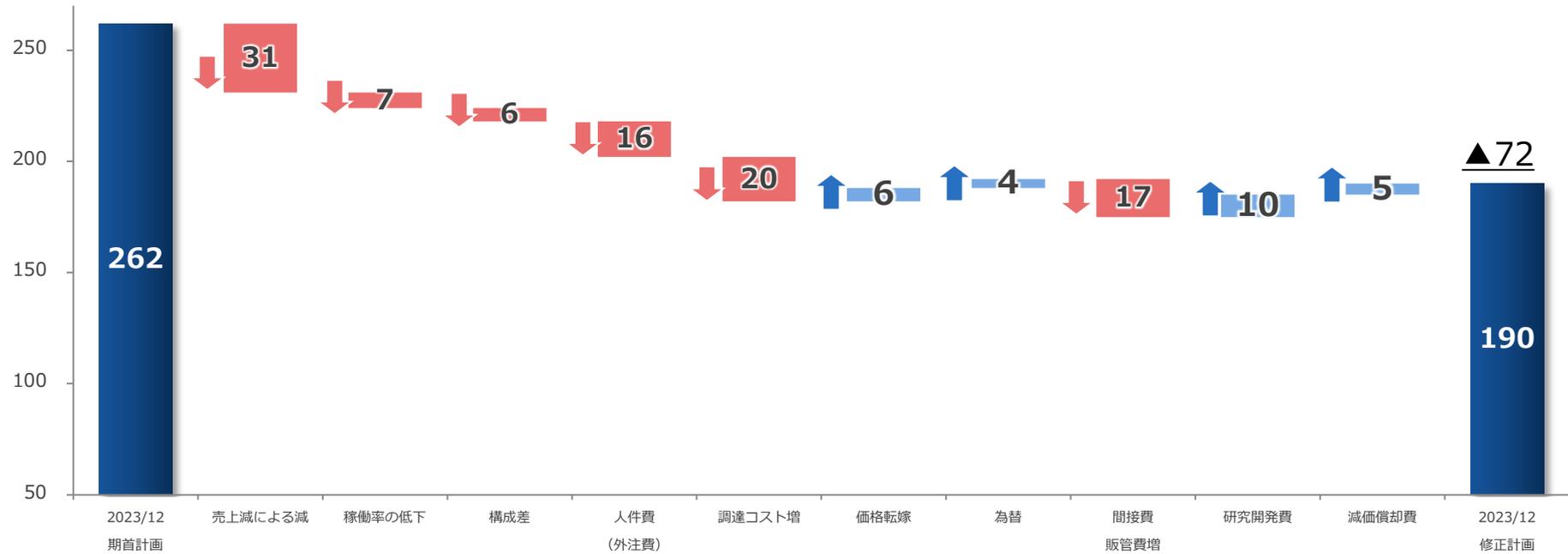
2022/12上期

2023/12上期

2023/12修正計画

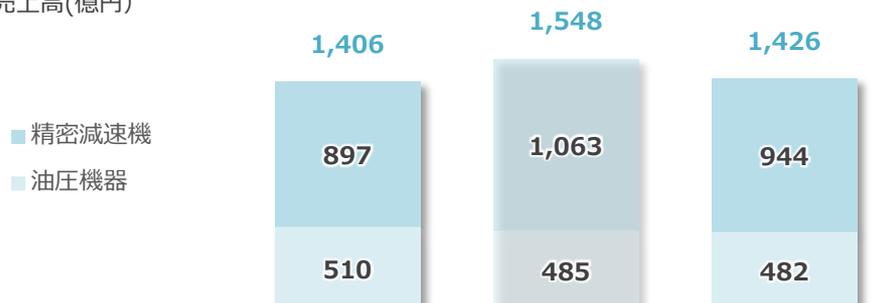
2023年12月期 通期業績見通し詳細

2023年通期計画の営業利益悪化要因（期首計画対修正計画）



コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高(億円)



営業利益(億円)	159	196	128
営業利益率	11.3%	12.7%	9.0%

【売上】

- ・精密減速機事業：6月以降急激に中国向け等の需要低下がみられ、下方修正
- ・油圧機器事業：中国市場で想定以上の需要減少があるものの、他地域での需要好調により期首計画並みを見通す

【営業利益】

- CMPの減収による減益（精密減速機のFA向け減少）および期首想定を上回る調達コストの増加

トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高(億円)



営業利益(億円)	67	76	73
営業利益率	9.5%	9.8%	9.3%

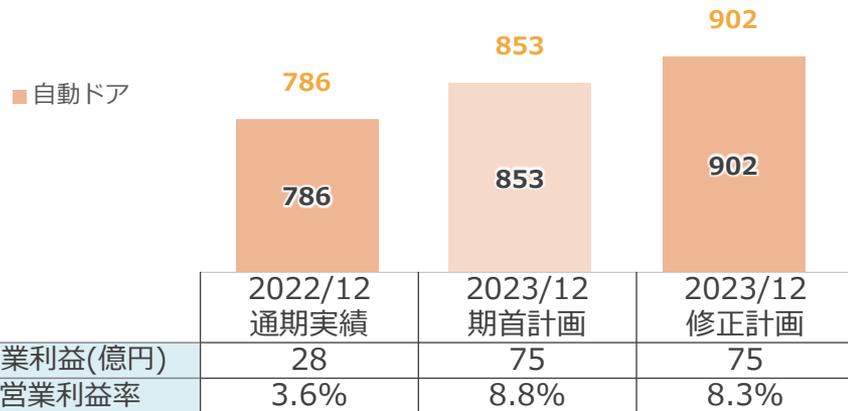
【売上】

- ・鉄道車両用機器事業 期首計画並み
- ・航空機器：期首計画並み
- ・商用車用機器：顧客での各種部品不足による減産の長期化影響で下方修正
- ・船用機器事業：好調な造船、海運市況をうけ上方修正

【営業利益】

- 期首計画並みを見通す

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)



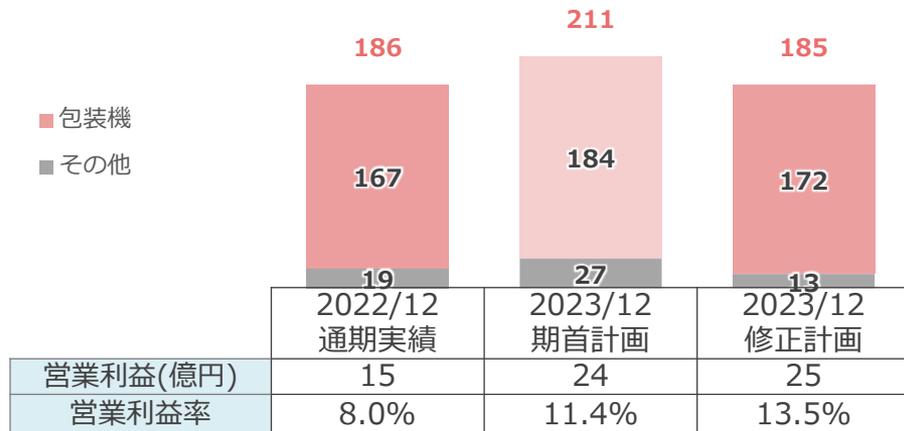
【売上】

- 国内外の建物用自動ドア需要が堅調であることに加え、コントローラー等の電子部品不足が解消したことによるMROでの売上増加や為替により上方修正

【営業利益】

- 第2四半期では海外プラットホームドア案件で一時コストが発生するも国内外での建物用ドアの好調を受け、期首計画並みを見通す

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)



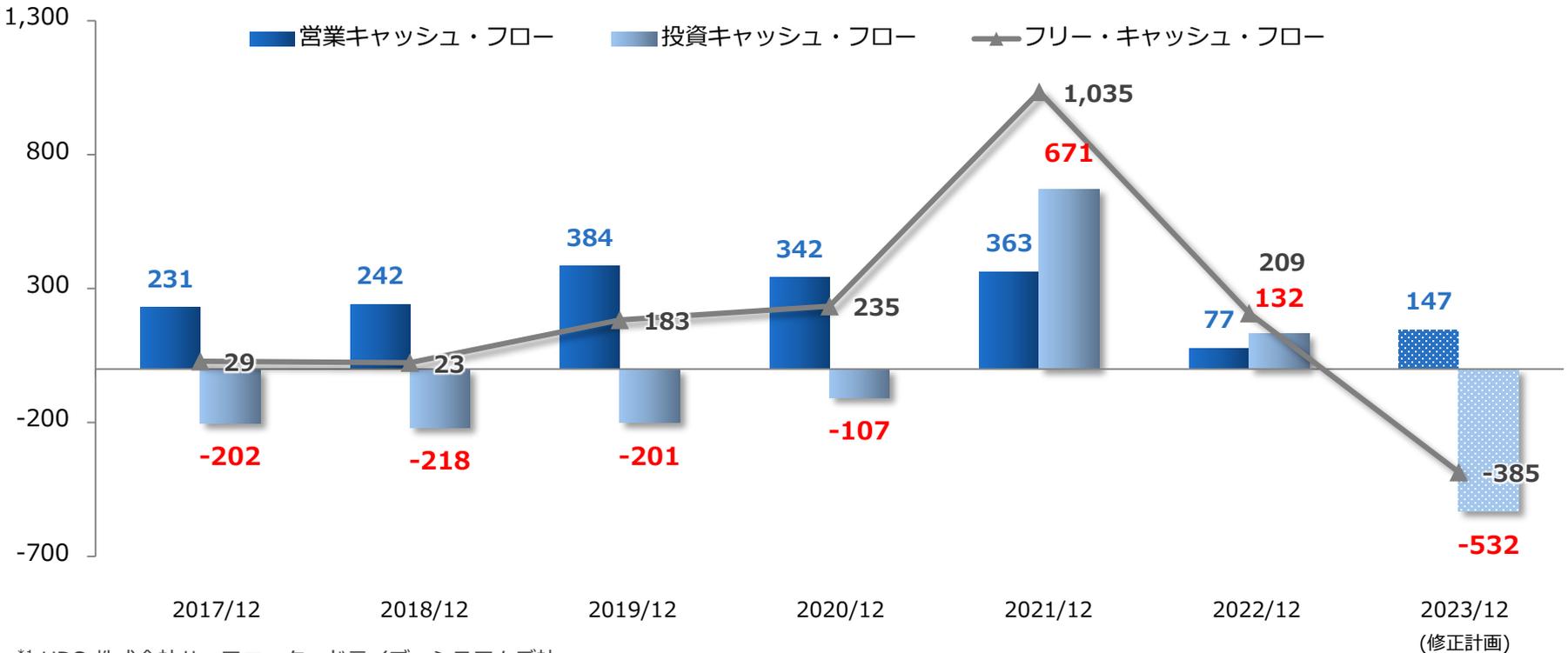
【売上】

- 包装機では、顧客での設備投資時期の先送りによる影響により下方修正
- その他事業ではティーエス プレシジョン (株) 売却にともない下方修正

【営業利益】

- 事業売却益を計上し利益は計画並みを見通す

■ 2023年12月期は、精密減速機の新工場建設による設備投資の増加、M&AとHDS*1株式売却に関わる売買代金の精算等により、マイナスのフリー・キャッシュフローを見込む



*1 HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高 (億円)

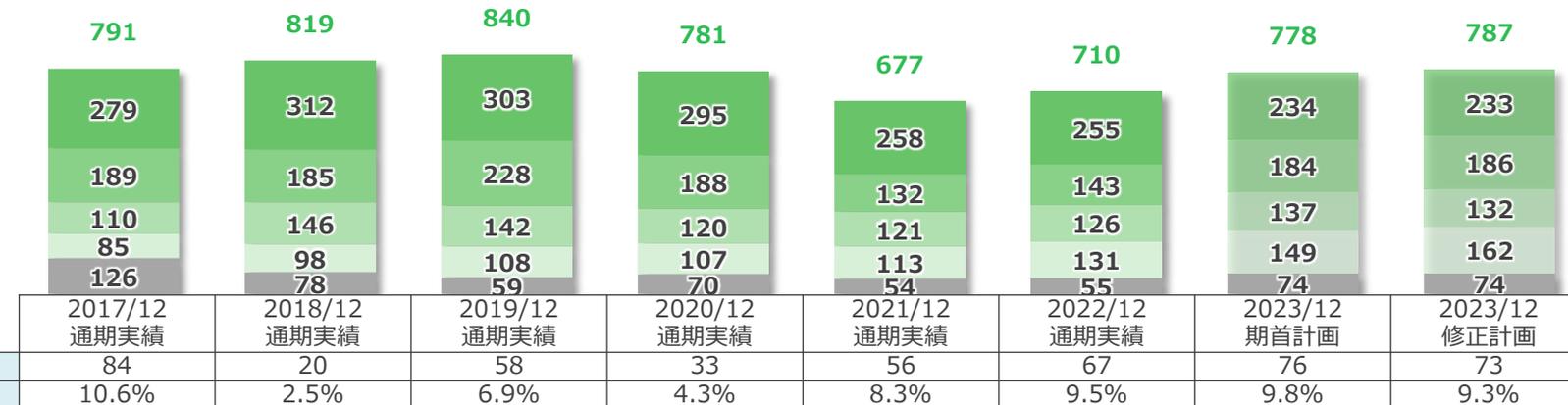
- 精密減速機
- 油圧機器



トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高 (億円)

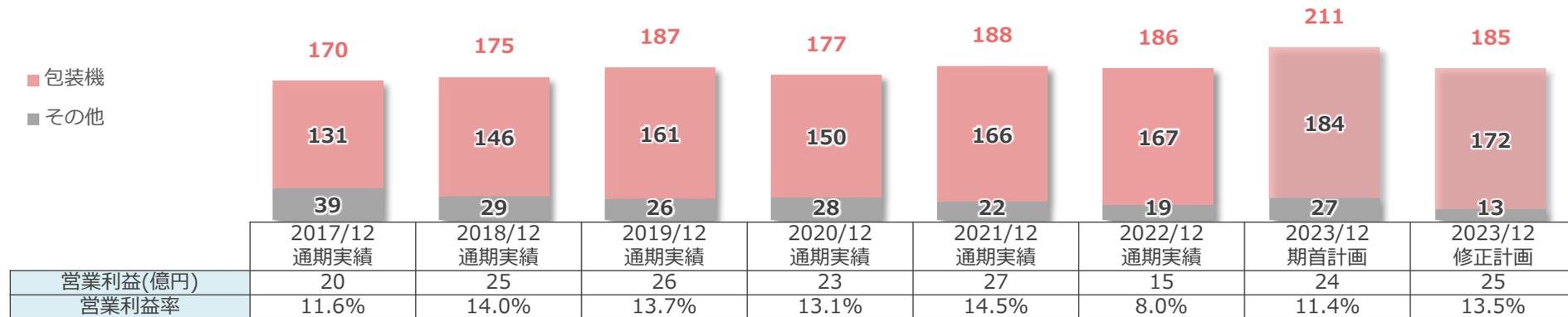
- 鉄道車両用機器
- 航空機器
- 商用車用機器
- 舶用機器
- その他



アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)



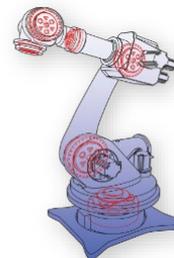
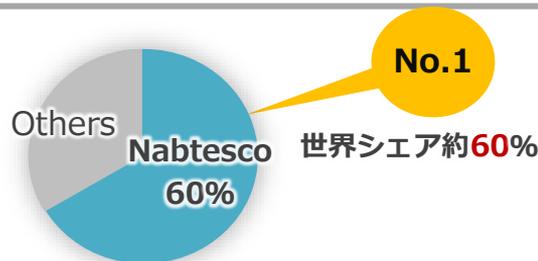
マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)



精密減速機

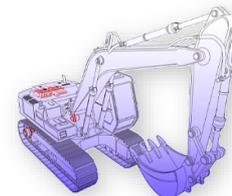
注：シェアは当社推計

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

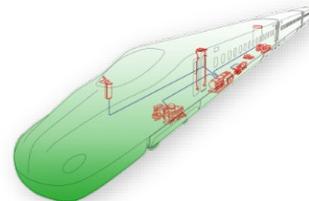
注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

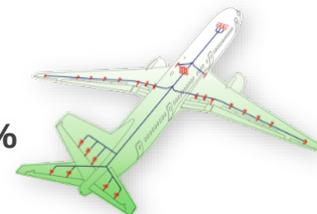


■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

注：シェアは当社推計

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

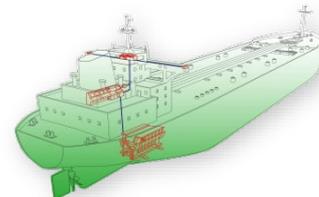


■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、(株) ジャパンエンジンコーポレーション、(株) マキタ、日立造船(株)、三井E&Sマシナリー、Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、MAN Diesel (デンマーク)

自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



■ プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。
Nabtesco

